

## 2022 年度 事業報告

### I 事業名：オリンピックを軸にした持続可能なまちづくりに関する調査研究

#### ー プレイス・アタッチメント（場所愛着）の醸成とオリンピック輩出の要因分析 ー

スタッフ：齋藤雅英・相川聖・堀彩夏・浦佑大（日体大）、岡部康成（帯広畜産大）

II 研究概要：「幕別町」を地域ブランドとして確立するための資源のひとつとして、多くのオリンピックを輩出していることが挙げられる。この特徴を活かすために、①プレイス・アタッチメント（以下、PA）に関する調査研究と②オリンピック輩出の要因に関するインタビュー調査を行う。

### III 2022 年度 研究実施計画

- (1) 2021 年度調査のまとめ
- (2) PA 尺度を幕別町ならびに町規模が同等な地域で実施
- (3) 幕別町出身のオリンピックらを対象としたインタビュー調査

### IV 結果

- (1) 2021 年度調査のまとめ

概要：本調査の目的は、地域愛着の形成要因から協力行動までを包括的に構造化することであった。そして、幕別町におけるスポーツ振興の効果を明らかにするため、形成要因としてスポーツを取り上げた。

その結果、先行研究同様のモデルが認められ、印象形成要因としてスポーツが影響していることが確認された。この結果から、スポーツ振興が地域への協力行動を促す可能性があり、ひいては地域の活性化につながる可能性が示された。

以上の結果は、研究スタッフの相川を中心にまとめられ、結果を公に示すため、研究雑誌への投稿を準備中である（近日中に投稿予定）。

- (2) PA 尺度を幕別町ならびに町規模が同等な地域で実施

概要：外部業者を活用し、幕別町と同等の規模である市町村を選定し調査を行った。調査項目は町の担当者とも協議し、2021 年度調査に項目を追加し実施した。

年度末まで調査を実施したため、結果については、研究スタッフの浦を中心に分析中であるが、幕別町のオリンピックを活用したまちづくりの優れた点を示すことができるものと思われる。

(3) 幕別町出身のオリンピックらを対象としたインタビュー調査

概要：東京オリンピック 2020 のオリンピックであり、今年度の飛び込みの世界選手権メダリストへのプレインタビューを 2022 年 5 月 30 日に実施。目的は、幕別町出身のオリンピックを対象に地域愛に関するインタビューを実施するために役立てるためであった。プレインタビューから幕別町でのインタビューを実施するための項目づくりを行った。

幕別町でのインタビューは、12/18 の 16:30~17:30 に幕別町札内スポーツセンターにおいて、幕別町出身のオリンピック 2 名（高木菜那選手、桑井亜乃選手）を対象に実施した。インタビューの目的は、「幕別町出身のアスリートは幕別町のどのような側面に愛着を感じているか」「幕別町のどのような支援があってトップアスリートになっていったか」について明らかにすることであった。

結果として、2 名の選手からは幕別町の環境や町民の人柄などに対する好意的な様子が窺えた。また、トップアスリート育成に向けた支援についてもそれぞれの選手から考えを聞くことができた。本インタビュー調査の内容は、研究スタッフの堀を中心にまとめており、オリンピックを軸にした持続可能なまちづくりに関する効果と課題を示していく。

以上